



小学校中学年《3・4年生》のみなさんへ

冬休みおすすめ本リスト

登別市立図書館 [2012年版]

	書名 作者名 しゅっぱんしゃ	ないよう
絵本	くぎのスープ  菱木 晃子 文 スズキコージ 絵 フェリシモ出版	<p>「このくぎ1本で、うまいスープをつくれるんだ！」男はなべに水と、くぎだけを入れると、かまどの火にかけました。けちんぼうのおばあさんは、スープのつくり方を知りたくて…。</p>
絵本	マッチ売りの女の子  角野 栄子 文 黒井 健 絵 小学館	<p>雪の夜、身よりのないマッチ売りの女の子がマッチをすると、幸せなこうけいがうかびました。女の子は、むちゅうでマッチをすりますが、とうとうマッチがなくなって…。</p>
絵本	北風ふいてもさむくない  あまん きみこ 文 西巻 茅子 絵 福音館書店	<p>すてきなマフラーをあんでもらった、かこちゃんときつね、うさぎ、ねずみの子どもたち。みんなで「北風ふいても、さむくない」とうたいながら歩いていると、どこからか小さななき声が聞こえてきて…。</p>
絵本	ぼくのブックウーマン  ヘザー・ヘンソン 文 デイビッド・スモール 絵 さ・え・ら書房	<p>今から、80年前のアメリカ。学校に通えない不べんな場所でくらしている子どもたちへ、図書館の本を運び続ける人たちがいました。じっさいにいた、じょせい図書館員をモデルにした物語です。</p>
図書	町のゆきだるまのはなし  たかどの ほうこ 作 本庄 ひさ子 絵 佼成出版社	<p>町を見ているのが大すきなゆきだるまには、もっと大すきなことがあります。それはどこからかながれてくる、ピアノの音を聞くことでした。そんなゆきだるまにお手紙がとどきました。</p>

	書名 作者名 しゅっぱんしゃ	ないよう
図書	ゆきひらの話  安房 直子 作 田中 清代 絵 偕成社	<p>古い小さな一けん家で、かぜをひいたおばあさんが、たったひとりでねていました。こんな時、だれかいてくれたらと思っていると、台所でコトコトと音がします。「ぼく、ゆきひらです」しゃべっていたのは古いおなべだったのです。</p>
図書	アイヌ犬コロとクロ  今泉 耕介 作 ハート出版	<p>交通じこでとつぜんなくなってしまった少年のもとにとどいたのは、「ユネスコ世界児童(じどう)画展(がてん)」さいゆうしゅうしょうの知らせでした。絵をかくことが大すきで、とてもやさしい心の持ち主だった沢口敏くと本当の兄弟のようにくらしただ犬たちの物語です。</p>
図書	行こうぜ！サーカス  沢田 俊子 作 ひろの みずえ 絵 汐文社	<p>ぼくのクラスに、親がサーカスだん員の立花くんが転校してきました。ゆめのようなサーカスの、ぶ台をささえている人や動物のたくさんドラマを立花くんは教えてくれました。</p>
図書	ことば観察にゆうもん  米川 明彦 文 祖父江 慎 絵 福音館書店	<p>12時、正午、午後0時、お昼、午の刻(うまのこく)…。さしめすものが同じでも、年れい・地方・しよく業・仲間うちによって、ちがうことばでひょうげんするものがたくさんあります。そんなことばのいろいろを楽しくしょうかいします。</p>
図書	六本そでのセーター  令丈 ヒロ子 作 さかた しげゆき 絵 小峰書店	<p>ぼくのおばあちゃんはちょっと変わっていて、ときどきくれるプレゼントはへんな物が多いのです。べんりで役に立つ物をリクエストしたら、とどいたセーターには6本のそでがついていて…。</p>